



広がれ支援の輪 とどけ！皆の思い

ふれあいネットワーク

いちのせき

社協

第18号

だより

[2011年3月31日発行]



東日本大震災において被災された皆様に、少しでも何か力になれることを考え千厩支部では3団体と一緒に「米1合、毛布一枚」の提供を呼びかけました。ガソリン不足の中でしたが、近くの公民館に持ち込んで頂くように呼びかけたところ本当に多くの物資の提供を頂きました。

千厩地区の受付場所となった千厩農村勤労福祉センターでは延べ300人を超えるボランティアの協力を得て、支援物資の受け付けや仕分けなどが行われ、集まった物資はボランティアや、災害対策千厩支部の車延22台(3月28日現在)で被災地の避難所や病院に届けられました。

また、3月26日、27日の2日間千厩町出身・在住の大学生、高校生等が、町内2カ所で募金の呼びかけを行い、多くの方から協力を頂く等、地域で支援の輪が大きく広がっております。

(詳しくは、6ページの千厩支部通信)

平成23年度 一関市社会福祉協議会 事業計画

1. 社協の動向

経済活動の低迷が続いており、社協を取り巻く状況も厳しさを増している。

今日まで地域におけるサービスの急激な変化が住民に及ぼす影響に配慮しつつも、サービスの格差是正に努めてきた。

このように地域特性への配慮と、事業の一元化という困難な課題に取り組んで来てはや六年目を迎える。

ここに来て、藤沢町との合併の話題が再浮上してきた。

このことを受け、今後とも事務事業の統合廃止や拡大を行いながら、平準化を図って行くことが引き続き課題となつてこよう。

2. 基本理念

福祉は、みんなで支え合うという一人ひとりの「思いやり」と「助け合い」の結の心を育むことと同時に、福祉の担い手であり、福祉の受け手であることを認め合い『支えあい 幸せ感じる 地域の暮らし』を基本理念とする。

3. 基本方針

(1) 国、県、市町村の動向、混迷する社会経済の情勢等を見据えながら、地域住民の意向を把握し、関係機関・団体と協調し、適切な福祉サービスの提供に努める。

(2) 地域福祉の取り組みを構築するため、引き続き行政機関、関係団体、住民と社協の協働での福祉サービスネットワークの整備に努める。

(3) 国、県及び市町村の行財政運営は一層厳しく、全ての事務事業の見直しや合理化及び改革等が進められている。

このことから、今後社協への補助金、委託事業の内容等の見直しによる収入減少に留意しつつ、コスト意識をもち、経費節減を図りながら真に必要なサービスを実施するために事務事業の効率的な執行に努める。

4. 事務・事業の推進

(1) 地域福祉の推進にあたっては、市民の社会参加の促進とボランティア意識の醸成を図りながら、住民相互で支え合う互助・共助の精神を高め、地域福祉活動推進協議会等の組織と連携し、地域を支える仕組みの構築に努める。

(2) 社協の事務事業の円滑な推進を図るため、福祉委員である行政区長、民生児童委員等の協力を得て、社協会費及び募金納付の円滑化を図りつつ、社協業務の推進と地域福祉の増進に努める。

(3) 子育て支援にあたっては、少子化・核家族化等により、子育て環境が徐々に変化しつつあることを踏まえ、子育てサロン事業の拡充やファミリーサポートセンター事業等の利用促進を図りながら子育てネットワークの活用など、適切な支援を行う。

(4) 相談、支援体制にあたっては、あらゆる心配ごとや悩みごとについて、心配ごと相談所などで適切な相談業務を行い、関係機関と連絡を密にしながら問題解決に努める。

また、判断能力が十分でない方へ支援するための日常生活自立支援事業

や、障害者や家族に対し、地域における生活を支援するための障害者支援プラザ活用の促進や関係機関との連携を図りながら、相談支援機能の充実を図る。

低所得世帯や障がい者世帯などの、経済的自立と生活の安定を目指し、生活福祉資金貸付の相談体制の充実を図る。

(5) 介護保険事業にあたっては、訪問介護・通所介護・訪問入浴・居宅介護支援等の在宅福祉サービスは、介護保険制度の改正に対応しながら、サービスの質の向上と収支のバランスを堅持し、更には社協のもつ公益性等の特性も踏まえながら経営基盤強化に努める。

また、大東・東山地域の高齢者福祉の中核的役割を果たす、高齢者総合相談センターしづたみ（地域包括支援センター）は、地域の実状に即時に対応した高齢者等の生活支援の充実に努める。

(6) 障害者の自立支援にあたっては、障害者居宅介護・生活介護等の在宅介護の利用を促進すると共に、就労継続支援事業所千厩ワークプラザの適切な運営を図る。

(7) 人口減少や高齢化に加え、混迷する時代に対応するため、情報提供の徹底を図るとともに、学習の機会を設定する。

一般会計資金収支予算

収 入

区 分	22年度予算額	23年度予算額	比 較
経常活動による収入	千円 673,882	千円 683,762	千円 9,880
施設整備等による収入	0	0	0
財務活動による収入	50,321	66,362	16,041
前期末支払資金残高	244,307	239,818	△ 4,489
合 計	968,510	989,942	21,432

支 出

区 分	22年度予算額	23年度予算額	比 較
経常活動による支出	千円 718,236	千円 690,793	千円 △ 27,443
施設整備等による支出	160	5,217	5,057
財務活動による支出	55,304	55,380	76
予 備 費	2,050	2,082	32
当期末支払資金残高	192,760	236,470	43,710
合 計	968,510	989,942	21,432

公益事業特別会計資金収支予算

収 入

区 分	22年度予算額	23年度予算額	比 較
経常活動による収入	千円 200,737	千円 167,889	千円 △ 32,848
施設整備等による収入	0	0	0
財務活動による収入	0	0	0
前期末支払資金残高	245	39,201	38,956
合 計	200,982	207,090	6,108

支 出

区 分	22年度予算額	23年度予算額	比 較
経常活動による支出	千円 154,129	千円 157,205	千円 3,076
施設整備等による支出	9,095	5,374	△ 3,721
財務活動による支出	1,782	1,954	172
予 備 費	838	597	△ 241
当期末支払資金残高	35,138	41,960	6,822
合 計	200,982	207,090	6,108

千厩ワークプラザ特別会計資金収支予算

収 入

区 分	22年度予算額	23年度予算額	比 較
就労支援活動による収入	千円 2,772	千円 2,891	千円 119
福祉事業活動による収入	23,054	20,375	△ 2,679
施設整備等による収入	0	0	0
財務活動による収入	0	0	0
前期末支払資金残高	14,330	19,208	4,878
合 計	40,156	42,474	2,318

支 出

区 分	22年度予算額	23年度予算額	比 較
就労支援活動による支出	千円 2,772	千円 2,891	千円 119
福祉事業活動による支出	18,522	19,852	1,330
施設整備等による支出	0	0	0
財務活動による支出	153	201	48
予 備 費	0	0	0
当期末支払資金残高	18,709	19,530	821
合 計	40,156	42,474	2,318

平成23年度一般会計経理区分別事業費予算

法 人 運 営	支部名	事業名	当初予算	事業説明	
	本部・支部	人件費		134,617	職員25名、臨時職員1名、退職金(8名)
		事務費		22,886	理事会(6回)、評議員会(5回)、監事会(4回)
					合併協議(3回)、各支部運営委員会(21回)
					職員旅費、事務諸費
		事業費		837	福祉講演会、車輛維持費、燃料費等
		団体助成金		282	福祉団体活動助成金(3団体)
		福祉事業経理区分へ繰出		3,782	福祉事業へ
		共同募金配分金経理区分へ繰出		7,943	共募配分事業へ
		貸付事業経理区分		804	生活福祉資金貸付事業へ
福祉センター管理経理区分へ繰出			583	福祉センター管理運営費へ	
			269	受託事業へ	
			172,003	経常活動による支出計	
			0	施設整備等による支出計	
			51,705	財務活動による支出計	
			50,000千円 1,705千円	財政調整積立金繰替運用 県社協退職共済掛金	
			223,708	支 出 合 計	

福祉推進事業

支部名	事業名	当初予算	事業説明
一関支部	食事サービス事業	6,918	高齢者等に夕食を配達 (13,407 食)
	理髪サービス事業	600	家庭で寝たきり者に理髪券 (3 枚) 交付
	水難物故者追悼費	536	8 月 20 日災害犠牲者の追悼流灯会を開催
	団体助成	495	ボランティア団体 (12 団体) へ活動助成
一関支部計		8,549	
大東支部	見守り活動支援事業 (安心袋配布)	35	緊急時必要な物を入れる安心袋を配付 (50 人)
	寝たきり高齢者友愛訪問	0	在宅寝たきり高齢者を友愛訪問 (90 人)
	ボランティア機器貸出	50	ボランティア活動機材を無料で貸出
	ボランティア団体助成	87	ボランティア団体 (2 団体) へ活動助成
	支部社協だより発行	0	年間 12 回発行
大東支部計		172	
千厩支部	福祉推進事業	234	障害者交流事業、団体助成 (3 団体)
	理髪サービス事業	370	重度障害児者に理髪券を交付
千厩支部計		604	
東山支部	見守り活動支援事業 (安心袋配布)	30	緊急時必要な物を入れる安心袋を配付 (15 人)
東山支部計		30	
室根支部	見守り活動支援事業	384	在宅寝たきり者へ尿とりパットの支給 (40 人)
	支部社協だよりの発行	23	年間 3 回発行
	ボランティア活動推進事業	33	ボランティア団体 (1 団体) へ活動助成
	福祉団体等助成事業	0	22 年度で事業廃止
	理髪サービス事業	130	要介護度 4・5 及び重度障害児者に理髪券を交付
室根支部計		570	
川崎支部	障がい者交流事業 (やまびこ教室)	79	障害者の懇親、ニュースポーツ等親睦を図る
	福祉団体等助成事業	61	福祉団体 (2 団体) へ活動費助成
川崎支部計		140	
経常活動による支出計		10,065	
支 出 合 計		10,065	

共同募金配分金

支部名	事業名	当初予算(単位:千円)	事業説明
本 部	社会福祉大会	1,062	7 月 28 日に開催
	社協だより	3,664	年間 4 回発行 (全戸配布)
	心配ごと相談所	379	毎週木曜日と巡回相談 (毎月第 2 金曜日) 開設
	ボランティア教育推進事業	636	小、中、高等学校ボランティア協力校の指定
	ボランティア講座開催事業	239	ボランティア体験講座等の開催
	ゆいっこ広場開催事業	496	福祉への関心を高める福祉まつりの開催
	介護者リフレッシュ事業	857	家庭介護者の交流と介護疲れを癒す事業
	民児協等団体助成	2,222	福祉団体 (3 団体) へ活動費助成
本部計		9,555	
各支部	小地域福祉推進事業	6,131	地区福祉活動推進協議会へ助成 一関 8 花泉 7 大東 6 千厩 4 東山 28 室根 20 川崎 26
	ふれあいサロン事業	5,742	高齢者等の交流事業 一関 134 花泉 46 大東 59 千厩 46 東山 22 室根 20 川崎 13
	ひとり暮らし高齢者の集い事業	1,609	ふれあい交流会の開催 花泉 65 大東 135 千厩 130 東山 45 室根 25 川崎 25
	歳末たすけあい配分事業	19,790	要援護者に歳末義援金を贈る
各支部計		33,272	
花泉支部	ボランティア活動	111	ボランティア団体助成 (16 団体) 等
	福祉啓発活動	216	福祉作文入賞者顕彰及び文集発行
	ふれあい子育てサロン事業	32	親、祖父母を対象に仲間づくり事業
花泉支部計		359	
大東支部	見守り支援 (ふれあい・ひまわりサービス)	159	要援護者にふれあいハガキを郵送 (延べ 4,200 人)
	支部だより	262	経理区分変更
大東支部計		421	
東山支部	見守り活動支援事業	0	緊急時必要な物を入れる安心袋を配付 (15 人)
	支部だより	0	年間 3 回発行
東山支部計		0	
川崎支部	支部社協だよりの発行	41	年間 2 回発行
川崎支部計		41	
経常活動による支出計		43,648	
支 出 合 計		43,648	

貸付事業

支 部 名	事 業 名	当初予算	事 業 説 明
本 部	生活福祉資金貸付事業	3,710	修学や福祉資金等の貸付を行う事務費 22年度より貸付相談員（嘱託職員）設置
各支部	たすけあい金庫貸付事業	2,750	緊急の資金として、5万円を限度に貸付
千厩支部	奨学金貸付事業	10	償還の連絡事務費（21年度以降貸付なし）
経常活動による支出計		6,470	
財務活動による支出		52	県社協退職共済掛金
支 出 合 計		6,522	

福祉センター
管理運営

支 部 名	事 業 名	当初予算(単位:千円)	事 業 説 明
一関支部	福祉センター管理運営	13,734	福祉センターの会議室等の貸出等の管理運営
経常活動による支出計		13,734	
支 出 合 計		13,734	

居宅介護等

支 部 名	事 業 名	当初予算	事 業 説 明
各支部	ヘルパーセンター	146,579	介護認定者に生活援助、身体介護を提供（3,168人） 花泉 27,000件 大東 9,000件 東山 6,700件 室根 6,943件
	介護支援事業所	17,080	障害者に生活援助、身体介護を提供（336人） 花泉 3,852件 大東 396件 東山 2,240件 室根 120件
	生活管理指導員派遣事業	690	介護認定非該当者に家事援助等を提供（72人） 花泉 12件 大東 60件 室根 48件
各支部計		164,349	
経常活動による支出計		164,349	
施設整備等による支出		2,285	パソコン、介護システムバージョンアップ用ソフト等
財務活動による支出		1,365	県社協退職共済掛金
支 出 合 計		167,999	

受託事業

支 部 名	事 業 名	当初予算	事 業 説 明
本 部	外出支援サービス事業	4,910	在宅の移動困難者に通院等の支援を行う
	日常生活自立支援事業	5,528	判断能力が不十分な方の日常生活を支援
	障害者相談支援事業	9,920	障害者の相談、情報提供を行う
	ファミリーサポートセンター(子育て支援)事業	3,186	育児相談や援助者の派遣等調整を行う
	子育てサロン助成事業	787	子育てサロンに助成金交付（20団体）
	手話奉仕員派遣事業	464	聴覚障害者の社会参加と相談支援を行う
本部計		24,795	
各支部	敬老会	40,684	80歳以上の高齢者を対象に開催
一関支部	真滝児童館	6,263	児童厚生施設の健全育成事業（62名）
	介護予防移動教室	544	介護予防移動教室の運転業務を受託
一関支部計		47,491	
花泉支部	さわやか大学事業	7,233	高齢者の介護予防の支援を行う
花泉支部計		7,233	
大東支部	高齢者健康づくり教室	1,837	老人クラブを単位に入浴サービス等を提供（年間75回）
	興田在宅介護支援センター	1,200	介護予防、生活支援総合相談等を実施（12人）
	大原児童クラブ	1,883	放課後児童の見守り活動（2名）
	食の自立支援事業（配食サービス）	1,377	高齢者等に昼食を配達（1,745食）
大東支部計		6,297	
千厩支部	食の自立支援宅配事業	830	調理困難な高齢者に食事を配達（1,000食）
	千厩農村勤労福祉センター管理事業	3,328	勤労者福祉施設の管理運営
千厩支部計		4,158	
東山支部	東山在宅介護支援センター	1,970	介護予防、生活支援総合相談等を実施（83人）
経常活動による支出計		91,944	
施設整備等による支出計		0	
財務活動による支出		432	県社協退職共済掛金
支 出 合 計		92,376	

通所介護

支 部 名	事 業 名	当初予算	事 業 説 明
各支部	デイサービスセンター	178,941	日帰り施設介護サービス（24,770人） 大東 8,162 興田 8,008 東山 6,100 室根 2,500
	生きがいデイサービスセンター	9,432	認定非該当者等のデイサービス（1,972人） 大東 1,300 室根 672
各支部計		188,373	
東山支部	障害者通所介護事業	207	障害者自立支援デイサービス（51人）
東山支部計		207	
経常活動による支出		188,580	
施設整備活動による支出		2,932	パソコン、介護システムバージョンアップ用ソフト等
財務活動による支出		1,826	県社協退職共済掛金
支 出 合 計		193,338	

支部通信

一関支部

『サロンで介護予防・認知症』

『ふれあいサロンの活動を支援』

地域の高齢者を支える「ふれあいサロン」が各地域で活発に活動を展開しています。

一関支部ではふれあいサロンの活動が円滑に行えるよう支援するため、認知症の理解と介護予防における運動の必要性を学び、各サロンで活かしてもらおうと講座を十二月、二月の二回に分けて開催したところ、ふれあいサロン世話人や市ケアワーカーら、延べ一三〇人余が参加しました。

養成講座の前半は『認知症の正しい理解について』と題し、県社会福祉協議会の田山俊悦主査が講義。田山氏は「周囲の支えがあれば、認知症になっても住み慣れた地域で穏やかに暮らすことができる。認知症は誰もがなり得る可能性があるがあるので、自分の問題として認識をすることが大切。」と認知症への理解と対応について、話されました。後半は高齢者が主体的に介護



予防運動に取り組む機運を高めるため、市体育協会の小野寺留美スポーツ指導員が実践指導。小野寺氏からは「高齢者になっても無理なく筋力を高めることができる。」との説明のもと、座つたままでできる体幹の矯正、足腰の筋力トレーニング法や玄米ニギニギ棒を使ったゲーム等を指導されておりました。

参加者は地域に戻ってサロンのメニューに取り入れるべく、話しに熱心に耳を傾けると共に、介護予防運動を実践していました。

花泉支部

名役者揃い踏み！

去る二月二十日(日)花泉総合福祉センターを会場に市老人クラブ連合会花泉支部主催チャリティー芸能まつりが開催されました。一関市が共催、社協花泉支部が後援し、お世話をさせていただきます。

今回で二十一回目を数えるこの芸能まつりは、今年も会場が狭くなるほど。花泉地域及び近隣から六八〇人を超える来場者と、三十六もの出し物に約二〇〇名の出演者があり、盛況な芸能まつりとなりました。

唄に踊りに寸劇と多彩な内容で、会員相互の親睦と芸能文化活動の盛り上げに一役買うことができました。

なお当支部の老松介護予防センターさわか大学の職



介護問題をユーモラスに演じました

員による寸劇「認知介護」も好評で、コミカルな演技に笑いを誘いながらも、他人事ではない認知症介護の問題に共感しておりました。

また昼食時には実行委員が会場を廻り来場者から募った募金と、実行委員会からの寄付を合わせた六四、七五六円を当協議会へご寄付いただきました。今後の社会福祉事業の推進に活用させていただきます。

大東支部

「ボランティア協力校で福祉コンサート」

二月五日(土)に渋民小学校体育館を会場にミニ福祉コンサート「共に豊かに生きる」が開催されました。

この事業はボランティア協力校指定校である同校と渋民公民館が共催し家庭教育学級の一環として開催。コンサートには若手県職員の水谷ゆきこさんとバイオリニストの水谷美月さん(東京在住)を招きました。星さんは、生後間もない時期に高熱により聴覚障害を患い、その後の苦しかった思いや楽しく生きてきた今までの人生について講話。水谷さんは、星さんが作詞した「心の風」(作曲、清心)の歌とバイオリンを披露。星さんとの出会い、初めて聞いた生のバイオリンの音。子供たちにとって最高の教育になったようです。



千厩支部

「私も何かしたい！」

千厩地域で支援の輪広がる。

「私たちに出来ることはないの。」「こうしてはられない。」「被災地に必要な物は何。毛布は、米は。」そんな声が渦巻いたように感じられました。

三月十六日、千厩地域では被災地支援のために千厩町自治会協議会、千厩地域赤十字奉仕団、千厩町婦人消防協力隊、社協千厩支部が呼びかけ団体となり、二十五日を最終受入日として「毛布一枚・米一合」等の緊急支援物資の提供を住民に呼びかけました。受入場所は地区毎に公民館と勤労センターの計4箇所としました。このガソリン不足の中、果たしてどれだけ集まるかの不安をよそに、早速、翌十七日午前十時を過ぎると提供物資が持ち込まれ始めました。



世帯が多い千厩地区では、毛布を抱えて徒歩で、自転車、タクシーで、しかも一度ならず二度・三度と、本当に頭が下がります。

身内や知人・友人の安否が未だ不明で不安を抱えながら、また、既に悲しい連絡を受取りながらも、文書の回覧や仕分け作業と、悲惨な状況の中のボランティア活動となりました。

「手伝いに来たよ。」「何をすれば良い。」連絡をした訳でもないのに、地域の皆さんも集まり始めました。翌日もその翌日も三連休にも関わらず物資の仕分け・梱包作業等のボランティア活動は続きしました。しかもこの地震でボイラーが故障し暖房がない中で作業です。スポーツバックを抱えた高校生、帰省中の大学生、自治会、〇〇親睦会、個人ボランティア等多くの皆さん。また、千厩合同庁舎・農林センター、普及センター、市役所千厩支所、商工会議所千厩地域協議会等、まさに官民一体となって仕分け・梱包作業等の支援活動を行いました。

併せてボランティアへの湯茶、牛乳、お菓子、つぎたてのお餅、温かいスープ・とん汁等の提供もあり皆さんの温かい様々な活動に感謝をするばかりです。千厩地域の皆さんの思いをのせて、早速、翌十八日に緊急支援物資として第一便を陸前高田市、気仙沼市等へ届けることができました。その後も二十一日には九便目の物資を届けております。物資の受入から輸送まで千厩支所と連携した活動ができることで、千厩地域として出来ることを、皆さんの思いと一緒に届けています。

※三月二十一日の時点で、米千七百kg以上、毛布千枚以上、タオル・衣類・日用品生活品等二万点以上が寄せられております。

東山支部

さむい時期の運動と交流の場を！

二月二十四日（木）東山総合体育館において、東山地域シルバーふれあいスポーツ交流大会を二関市老人クラブ連合会東山支部と共同で開催しました。



六十歳以上の方々約一六〇名が参加しシャフルボード、カローリング、インドア・ローンボウルズ、輪投げの四種目で、運動不足になりがちな冬場に運動と交流を目的に行いました。

参加した方々は、一喜一憂しながら競技に夢中になり、また競技を観戦しながら交流をふかめました。

大会結果は、《シャフルボード》優勝：長寿会B、準優勝：長寿会A、第3位：岩ノ下《カローリング》優勝：福寿草、準優勝：天寿会A、第3位：生和会B《インドア・ローンボウルズ》優勝：松川7区準優勝：長久会、第3位：若葉会《輪投げ》優勝：竹沢A、準優勝：長友会、第3位：横沢、でした。

室根支部

みんなで広げようサロンの輪

二月二十八日（月）に室根保健センターを会場にふれあいサロン代表者交流会を開催しました。室根町内でサロン活動をしている代表者二十名とこれからサロン登録を計画している地区の代表者六名が



参加しました。内容はサロンの運営方法等の説明と介護予防についての講演、ビデオ研修（全社協製作）、グループ討議による情報交換です。

介護予防についての講演は、市役所の主任栄養士を講師に、栄養改善、閉じこもり予防、運動器機能向上などについて体操を交えながら講義いただき、健康づくりの大切さを学びました。

グループ討議は、参加者が二組に分かれ、日頃の活動で困っていること（会費、会員募集、講演依頼等）や、他のサロンの活動メニューについて質問がたたくさん飛び交い、今後のサロン活動に活かせる材料をそれぞれ持ち帰れたようでした。

「来年度は、町内サロン合同で何か事業を」という前向きな意見もあり、また、サロン活動の発表の場として「歌や踊りの発表会」や「趣味の作品展等」日頃の活動の励みになるものという声もありました。

活気あふれる楽しいサロン活動をみんなで誓いあつた交流会となりました。



川崎支部

小さな町のでっかい

コラボレーション 川崎健康福祉まつり

「地域ぐるみで生涯を通じた元氣・健康づくり ― 交流とノーマライゼーション」をテーマに、二月五日（土）川崎公民館で川崎健康福祉まつりが開かれました。十七の各種住民団体やグループが参加し、一年間の活動の成果の発表と参加体験コーナーを開設し、乳幼児から学生・高齢者・在住外国人まで多くの住民が交流を楽しみました。

ロビーでは高齢者の楽しい運動「すわってピクス」に始まり、かわさき健康塾による「みんなで歌おう会コーナー」では障がい者団体のマイケル・ジャクソンのダンス、運動療法士の指導でカスネットや手拍子を打ちながらの合唱、各種団体による手品、コーラス、玄米ニギニギ体操、中学生の形劇、寸劇タイガーマスクなどに来場者も一体となり盛り上がりました。

ステージでは韓国とフィリピン出身者による華やかな民族舞踊と、県国際交流協会のペルー出身者の講演が行われ、多文化共生への理解を深めました。



地域活動団体紹介

語り部の会グループ いずみの里

花泉

昔話を後世に

語り部の会「いずみの里」は、花泉地域にあるボランティアグループで、代表の千葉章夫さんを中心に現在十五名の会員が活動しています。

高齢者福祉施設や公民館行事、介護予防教室、集落のサロン等へ出向いての「出前」語り部を主な活動とし、そのための定例学習会も毎月熱心に行われています。学習会では、会員それぞれが調べ集めて

きた昔話の発表練習をしたり、昔の生活や言い伝えや言葉の意味を調査して、物語を解釈し、内容の理解を深めています。写真は、社会福祉協議会花泉支部で実施した「一人暮らし高齢者の交流会」「ふれあい交流会」に出前語り部をしていた時代の一枚です。参加した方々は昔に聞いた物語や、最近では使われなくなった方言を懐かしみ、童心に戻ったような一時を過ごしております。

代表の千葉章夫さんは「今後もっと活動の場を広げて、方言や昔話を語り継いでいきたい。」と力強く語っています。



屋中自治会 福祉活動推進座談会

室根

屋中自治会（会長 鈴木三男 一五六世帯）主催で、一月三十日屋中地区会館を会場に「市政を聞く会」並びに「福祉活動推進座談会」が開催されました。この座談会は、年頭行事として市長（当初は村長）及び社会福祉協議会会長を講師に招き、毎年開催されています。座談会開催当初は、自治会員の意識を高めようと始めたものですが、今では「タイムリーな情報を得る場」として期待されており、参加者も多く、今年も六十五名での開催となりました。座談会終了後には、講師、自治会員楽しく懇談を深め、理想の里づくりに花を咲かせておりました。



東北関東大震災について

1、救援物資（御礼）

寒さの中、長期化する被災者の避難生活を支援するため布団、毛布、衣料、生活用品や水、米等の食料品、医薬品等多くの救援物資を二関市及び一関市社会福祉協議会にお寄せいただき有難うございます。三陸沿岸部の被災地や市内の避難所へ随時輸送し、お役に立てさせていただいております。

2、「災害義援金」の募集

① 広域的な被災状況に鑑み、中央共同募金会で義援金を募集しています。期間は九月三十日まで。受入れ口座等は次のとおりです。

金融機関	口座番号	名義等
ゆうちょ銀行	郵便振替口座 00170・6・518	中央共同募金会 東北関東大震災 義援金

尚、一関市社会福祉協議会（岩手県共同募金会一関市分会）におきましても、窓口でも随時受け付けております。

② 岩手県においても義援金を募集しています。岩手県の被災者に義援金を贈られることを希望される場合は、次にお振込み願います。

銀行名	支店名	口座番号等	口座名義人名
ゆうちょ銀行	-	00100・2・552	岩手県災害義援金募集委員会
岩手銀行	県庁支店	普通預金 20166634	
北日本銀行	本店営業部	普通預金 70228484	

福祉サービスに関する意見・要望・苦情がありますか？

よりよいサービスを提供するため
みなさんからの声をうかがいます。

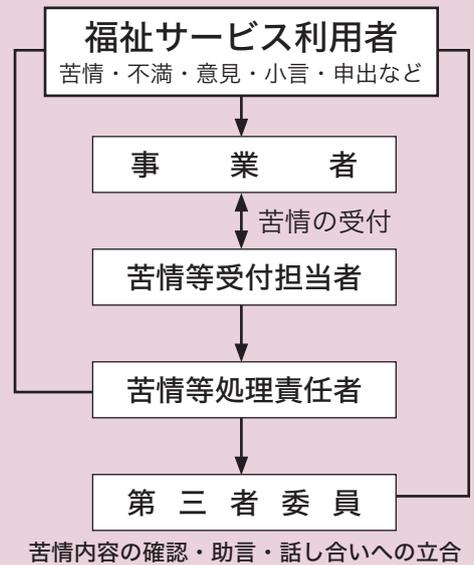
一関市社会福祉協議会では、在宅福祉サービスを提供する事業者として、苦情の解決とサービスの質の向上を目的に、各種の事業内容について評価やサービスに関する苦情などについて利用者を第一に考え、公正をはかるため、関係者以外から第三者委員をお願いしておりますので、ご紹介いたします。



◎第三者委員

- 岩淵 結祥** 一関市字樋渡 43-4
電話 23-7355
- 及川 好道** 一関市花泉町老松字藤田 149
電話 82-2303
- 岩淵 善朗** 一関市大東町曾慶字神蔭 38-7
電話 75-4411

《苦情等処理の流れ》



秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

社会福祉法人一関市社会福祉協議会（在宅福祉課） 電話 23-6020

障害者支援マガジ

社協では障がい者の生活力を高めるため「一関障害者支援プラザ」を開設しています。

ピアカウンセラー（脊椎損傷・視覚障害・聴覚障害の者）による相談のほか、地域で生活する知的障がい者や精神障がい者が日常生活をおくるうえで生じた生活課題の解決のため、行政、医療機関・学校・民生委員等と連携して情報の提供や連絡調整を総合的に行っています。

又、継続的に支援が必要な方や、困難事例で特にケアマネジメントを適切に実施しなければならぬ方については、地域ネットワーク形成の出来ている「一関地区障害者地域自立支援協議会」において、サービス調整会議を行うこととしています。

家庭訪問や移動相談所の開設の外に、障がい者を理解するための講座や、三障がい者のボウリング大会、春と秋には自然とふれ合う小さな旅も利用者と一緒に企画し、持ち弁当で参加し、交流を深めており、喜ばれている人気のメニューのひとつです。

相談や事業のお問い合わせは左記のとおりです。

一関障害者生活支援プラザ
電話 0191-31-3533
FAX 0191-23-6024

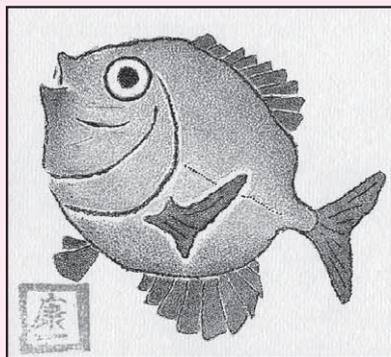
今月のギャラリー

高橋さんは右半身麻痺と言語障害を抱えています。

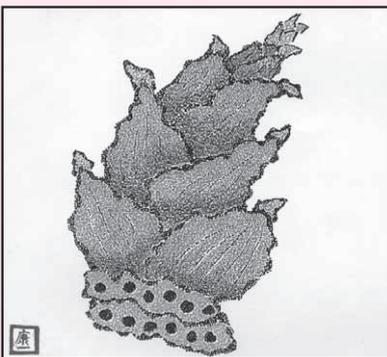
点描画には、言語のリハビリの一環として出会いました。一点一点丹精に色を付け、絵に生命を吹き込んでいく過程を楽しみながら自分の時間を大切に過ごしています。

お問い合わせは、一関ワークキャンパスまで。

一関市真柴字柺木立46-18
TEL 0191-23-7210



めで鯛



竹の子

平成22年度 一般募金・歳末たすけあい募金 実績額

・赤い羽根募金

(単位：円)

	一関支部	花泉支部	大東支部	千厩支部	東山支部	室根支部	川崎支部	合計
目標額	5,600,000	2,900,000	3,650,000	2,400,000	2,000,000	1,050,000	750,000	18,350,000
実績額	5,490,873	2,864,613	3,634,595	2,420,350	1,944,045	1,017,144	696,153	18,067,773
募 金 内 訳	戸別募金	5,199,100	2,605,591	2,794,800	2,071,800	1,441,300	915,900	15,682,191
	街頭募金	102,445	0	0	0	46,134	0	148,579
	法人募金	0	173,000	519,647	156,000	368,000	0	1,216,647
	学校募金	3,587	43,652	98,729	72,213	0	0	230,386
	職域募金	59,168	38,190	139,856	23,492	88,540	100,643	465,655
	イベント募金	0	0	42,828	93,484	0	0	147,921
	個人募金	19,851	0	0	0	0	0	22,582
	その他募金	106,722	4,180	38,735	3,361	71	601	153,812

・歳末たすけあい募金

(単位：円)

	一関支部	花泉支部	大東支部	千厩支部	東山支部	室根支部	川崎支部	合計
目標額	9,900,000	2,350,000	3,500,000	2,500,000	1,550,000	1,300,000	700,000	21,800,000
実績額	9,800,948	2,375,983	3,477,037	2,413,800	1,549,500	1,264,664	706,273	21,588,205
募 金 内 訳	戸別募金	5,167,521	1,881,994	3,226,500	2,088,630	1,035,000	1,216,900	15,262,795
	街頭募金	0	0	0	0	0	0	0
	法人募金	350,000	0	0	183,000	364,000	0	897,000
	学校募金	95,007	0	6,274	0	40,141	20,264	176,709
	職域募金	2,052,782	0	97,349	9,750	69,199	27,500	2,262,580
	イベント募金	1,616,257	0	0	97,420	32,360	0	1,746,037
	個人募金	130,850	0	57,860	20,000	8,800	0	230,510
	その他募金	388,531	493,989	89,054	15,000	0	0	1,012,574

・歳末配分結果

(数の内訳)

配分区分	単位	単価 (円)	数	配分額 (円)	一関	花泉	大東	千厩	東山	室根	川崎
生活困窮世帯	世帯数	10,000	442	4,420,000	153	65	91	43	41	35	14
	家族数	3,000	1,048	3,144,000	380	150	210	90	90	84	44
ひとり暮らし高齢者	人数	3,000	868	2,604,000	178	96	258	133	65	77	61
母子・父子世帯	参考(世帯数)		(245)	0	(104)	(29)	(37)	(46)	(6)	(6)	(17)
	家族数	5,000	387	1,935,000	160	57	61	73	9	7	20
介護を要するものがある世帯(寝たきり高齢者)	人数	5,000	275	1,375,000	103	42	26	41	28	15	20
介護を要するものがある世帯(認知症高齢者)	人数	5,000	70	350,000	19	10	14	15	6	2	4
障がい児(者)	人数	5,000	363	1,815,000	80	46	25	87	38	49	38
施設配分	個所	20,000～142,000	65	3,322,000	46	7	3	5	1		3
小計(1)				18,965,000							
配分事務経費(2)				371,490							
21年度配分合計(1)+(2)				19,336,490							

*平成22年度は実績額合計と配分合計の差額 2,251,715 円は、いったん岩手県共同募金会に送金し、次年度一関市社会福祉協議会の地域福祉事業、在宅福祉事業等の事業費として配分を受けます。

市民の皆様の温かいご支援・ご協力ありがとうございました。
 世帯配分にあたっては民生児童委員会のご協力をいただき配布させていただきました。
 時節柄、大変感謝されましたことをご報告申し上げます

地域への暮らしを考える

第四回講座

五回連続講座

〈共同企画〉

第四回講座は十一月二十日に「自殺・うつ・認知症」と題する秋保クリニック院長秋保茂樹氏の講演と、二十一世紀国際交流クラブ代表佐藤勇三氏の実践事例発表で展開されました。

秋保氏は、「自殺」は精神科医にとつて最大のテーマであること、平成十年から急増し十二年連続三万人を超えており、この数値は交通事故死の四倍であること、自殺率（人口十万人に対する自殺者の比率）が北東北三県（秋田、青森、岩手）が常に上位を占めていること、国際比較でも日本は高いこと等を紹介したうえで、その理由を次のように述べる。



- 1 もともと自殺を罪悪視しない文化であること。（キリスト教文化圏と比較されたい。）
- 2 バブル崩壊後の経済状況
- 3 競争的なアメリカ的ルールの導入（グローバルスタンダードの導入）
- 4 人間関係の稀薄化（問題に直面した時、稀薄化は孤立化を生み、最終的に自殺にいたる。）

国民の幸福度という視点から見るとデนมマーク、スイス、オーストリアが高く、日本は九十位と低い。これを見ると、幸福感と自殺率の間にはある程度関係があるように思われる。

自殺の原因は、と言うと健康問題、特にならうつが挙げられやすいが、自殺はひとつの理由だけで起こるのではなく、三つ以上の問題が連鎖していくことにより起きる。最終的にうつになり自殺をしてしまいうわけで、うつ対策だけで防げるわけではない。

うつ病の概念は、DSM疾病分類を導入したことから混乱が生じてきている。うつには基本的に二種類あると理解されたい。内因性うつ病は体の病気で治療薬が功を奏する。これに対し心因性うつ病は気分変動症、適応障害とも呼ぶべきもので、病気ではないから薬物は効かない。回復には本人の成長と環境改善が

なく、回復に時間がかかる。次に、認知症について。認知症にはさまざまなパターンがある。中核症状は記憶障害ほかで、周辺症状は徘徊、妄想等で、人によつて見られたり見られなかったりする。

認知症への対応の目標は「治す」ことではなく「安心」してもらうこと。認知症の人は何もわからないのではない。記憶は衰えても感情は衰えていない。それを表現できないだけである。



「二十一世紀国際交流クラブの活動」については、設立の背景として、川崎町に外国から嫁いで来たことにより様々な生活上の課題が出てきていることが民生児童委員の集まりで話題になったこと。

具体には「言葉が通じないこと」。日本語が話せないことによつて家族とのコミュニケーションがとれない、自分の意見を表現できない、このような事が積み重なってストレスが溜まる、家族関係に悪影響を及ぼすこと等である。本人も孤立感を覚えている人が多い。

- 1 「日本語教室」の開催：毎月第二、四土曜日七時から
- 2 春に「家族レクリエーション」として、お花見の開催
- 3 それぞれの国の料理をふるまう「料理交流会」の開催
- 4 川崎町のEポート大会へ、外国人チームとして参加
- 5 一関、花泉、千厩等で行われる国際交流イベントに参加



6 川崎地域文化祭への出演等である。人口減少をたどる中で、増え続けている在任外国人の力を借りて地域の活性化を図っていく必要があるのではないかと考える。そのためには異なる文化を相互に理解していく努力が必要であろう。

『岩手県多文化共生推進プラン』のパンフレットをお配りしたが、これから一層多文化共生という視点が重要になってこよう。

- ① 抄録をご希望の方は社会福祉協議会まで。
- ② 「地域での暮らしを考える」五回連続講座は引き続き一関公民館といちのせき市民活動センターとの共同企画で、平成二十三年度も実施の予定です。

まごころ寄附

平成22年11月から平成23年2月までに、市民の皆様からご寄附がありました。

一関支部

宮下	宮下民区 様	21,930円
三関字日照	ニュー公楽グループ 様	34,408円
真柴字中田	千葉 淳子 様	3,000円
一関市	舞川地区福祉活動推進協議会 様	20,000円
一関市	一関修紅高校文化祭3学年模擬店 様	26,481円
一関市	修紅祭PTA模擬店 様	22,392円
関が丘	奈良井 征徳 様	100,000円
一関市	NPO法人ケアセンターいこい	
	一関糧運株式会社 様	65,380円
一関市	法泉寺寒修行団 代表 吉家本浄 様	
	// 鈴木本英 様	100,000円

花泉支部

油島字花欠	川島 直子 様	50,000円
涌津字上吉田	鶴浦 照子 様	
	バスタオル60枚・タオル120枚	
花泉町	花泉地区福祉推進協議会	
	会長 阿部 淳子 様	2,100円
花泉町	花泉ダンス同好会	
	会長 阿部すみ子 様	10,000円
油島字中築道	佐藤 正弘 様	100,000円
永井字三本木	岩淵 源市 様	100,000円
永井字粒乱田	千葉 健吾 様	10,000円
日形字中神	菅原 力男 様	100,000円
日形字沼田	千葉 貞治 様	50,000円
涌津字下町	佐藤 幸 様	100,000円
花泉町	第21回一関市老連花泉支部芸能まつり実行委員会	
	実行委員長 小岩 誠一 様	30,000円
花泉町	第21回一関市老連花泉支部芸能まつり実行委員会	
	実行委員長 小岩 誠一(チャリティー募金) 様	34,756円

大東支部

大東町渋民字鶴巻	佐藤 澄男 様	100,000円
大東町摺沢字摺沢駅	松川 貞一 様	50,000円
大東町	一関市グラウンドゴルフ協会大東支部	
	支部長 金 秀弥 様	14,500円
大東町鳥海字細田	伊東 つる 様	50,000円
大東町	きたぎんレディースサークル大東	
	会長 小原ヨシエ 様	50,000円
大東町渋民字続石	菊池 順悦 様	30,000円
大東町	大東芸術文化協会大原支部	
	支部長 熊谷 市志 様	50,000円
大東町大原字堰ノ上	小山 隆人 様	100,000円
大東町猿沢字山崎	菊地 弘悦 様	100,000円
大東町猿沢字板倉	小野寺啓一 様	50,000円
大東町	大東町各種女性団体連絡協議会 様	30,000円
大東町沖田字大住	小野寺俊彦 様	30,000円
大東町渋民字関ノ上	産直ふるさと大東	
	組合長 藤原 良一 様	38,992円
一関市真柴字中田	横山 孝男 様	30,000円
大東町渋民字横張	小山 紀幸 様	30,000円
大東町中川字川ノ畑	小山ルス子 様	100,000円
大東町摺沢字荒屋敷	佐藤 文子 様	50,000円
大東町大原字沼ノ沢	渡辺 輝男 様	100,000円
大東町渋民字水無	星 敏雄 様	50,000円
大東町中川字大中斉	菊池 與一 様	50,000円
大東町沖田字大住	小山 吉雄 様	50,000円
大東町大原字古小屋	加賀 祐一 様	30,000円
大東町渋民字野手害	及川 昭巳 様	50,000円
大東町摺沢字堀河の沢	那須 勇 様	100,000円
大東町猿沢字清水田	菊地 長助 様	50,000円

大東町摺沢字石倉	佐藤 至 様	100,000円
大東町渋民字和田沢	小崎 盛人 様	50,000円
大東町大原字堰ノ上	菅原 秀志 様	50,000円
大東町摺沢字摺沢駅クラフト工房T, T	様	10,000円
大東町猿沢字伊沢田北沢	首藤 量平 様	50,000円
大東町摺沢字荒屋敷	松川 栄一 様	30,000円
大東町	大東芸術文化協会渋民支部	
	支部長 菊池 勉 様	20,000円
大東町渋民字大馬場	菊池 勉 様	30,000円
大東町大原字角明沢	大原 一則 様	100,000円
大東町中川字豊石	伊東 凡治 様	50,000円
愛知県安城市(大東町渋民字野手害)		
	天野 仁子 様	50,000円
	匿 名	100,000円

千厩支部

千厩字宮田	遠藤 芳春 様	17,500円
千厩字久保田	昆野 新哉 様	100,000円
千厩字町	熊谷 せい 様	100,000円
千厩町	千厩小学校昭和12年卒業有志一同	18,000円
小梨字浦ノ沢	千田 雅勝 様	50,000円
千厩字神ノ田	藤野 夢子 様	16,238円
千厩字上木六	村上 光政 様	50,000円

東山支部

田河津字竹沢	竹沢集落振興会 様	50,000円
東山町	東山ボランティア連絡協議会 様	30,000円
東山町	松川婦人会 様	43,000円
東山町	松川第2区自治会 様	14,710円
松川字三室	和賀 静男 様	50,000円
長坂字中倉	岩淵 己一 様	30,000円
長坂字町	鈴木 純 様	100,000円
田河津字野土	佐藤 長男 様	30,000円
長坂字町	(旬)げいび観光センター 様	34,300円
松川字中通	石川 成伸 様	100,000円

室根支部

津谷川字向平	熊谷 元男 様	30,000円
折壁字屋中	小山 修弘 様	50,000円
矢越字宿	畠山 晟 様	50,000円
室根町	室根中学校保健委員会 様	5,050円
折壁字三峯	菅原 正浩 様	50,000円
津谷川字浮野	芳賀 正幸 様	50,000円
折壁字中西	遠藤 養子 様	100,000円
折壁字梅木	千葉 壽男 様	70,000円
矢越字山口	三浦 一雄 様	50,000円
折壁字新館前	奥野 英男 様	30,000円
折壁字上前木	熊谷 進一 様	20,000円
折壁2丁目	石川 良夫 様	50,000円
折壁字大里	佐々木キミ子 様	30,000円
津谷川字下千代ヶ原	菅原梅之助 様	50,000円

川崎支部

門崎字萩崎	千葉 榮恒 様	50,000円
門崎字千手堂	佐々木 隆 様	50,000円
薄衣字柏木	小野寺 廣 様	200,000円
門崎字千手堂	佐々木一朗 様	50,000円
薄衣字諏訪前	千葉 高史 様	50,000円
薄衣字高野山	今野 良平 様	50,000円
薄衣字須崎	菅原 重雄 様	30,000円
川崎町	川崎芸術文化協会 会長 佐々木孝幸 様	35,740円
	匿 名	50,000円

ホームページに関する
お問い合わせ先

社会福祉法人 一関市社会福祉協議会ホームページ

http://www.ichinoseki-shakyo.com E-mail : info@ichinoseki-shakyo.com